

## 西宮市立南甲子園小学校校舎等改築工事における審査講評について

西宮市は、西宮市立南甲子園小学校校舎等改築工事にかかる審査及び落札者候補の選定の結果について、西宮市立南甲子園小学校校舎等改築事業者選定委員会の審査講評を公表します。

平成26年1月10日

西宮市長 河野 昌弘

# 西宮市立南甲子園小学校校舎等改築工事 審査講評

平成26年1月10日

西宮市立南甲子園小学校校舎等改築事業者選定委員会

委員名	所属・役職等
河野 美壽	南甲子園小学校校長
近藤 民代	神戸大学大学院 工学研究科准教授
多賀 謙蔵	神戸大学大学院 工学研究科教授
寺地 洋之	大阪工業大学 建築学科准教授
花田 佳明	神戸芸術工科大学 環境・建築デザイン学科教授

## <目 次>

第1	審査の概要	1
1	落札者の選定方法	1
2	選定委員会の設置	1
3	審査の流れ	2
4	選定委員会の審議・審査等の経過	3
第2	審査の結果	4
1	一次審査	4
2	VE提案の採否に関する審査	4
3	二次審査	4
4	提案審査	5
5	落札者候補の市への答申	7
6	各提案に対する評価の概要	7
7	選定委員会の総評	11

## 第1 審査の概要

### 1 落札者の選定方法

西宮市立南甲子園小学校校舎等改築工事（以下、「本工事」という。）を実施する受注者の選定方法は、各入札参加者からの本工事の実施に係る対価（以下、「入札価格」という。）のほか、設計及び建設に関する技術やノウハウが求められることから、提案者の提案内容等について総合的に評価する総合評価一般競争入札方式（地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の10の2）が採用された。

### 2 選定委員会の設置

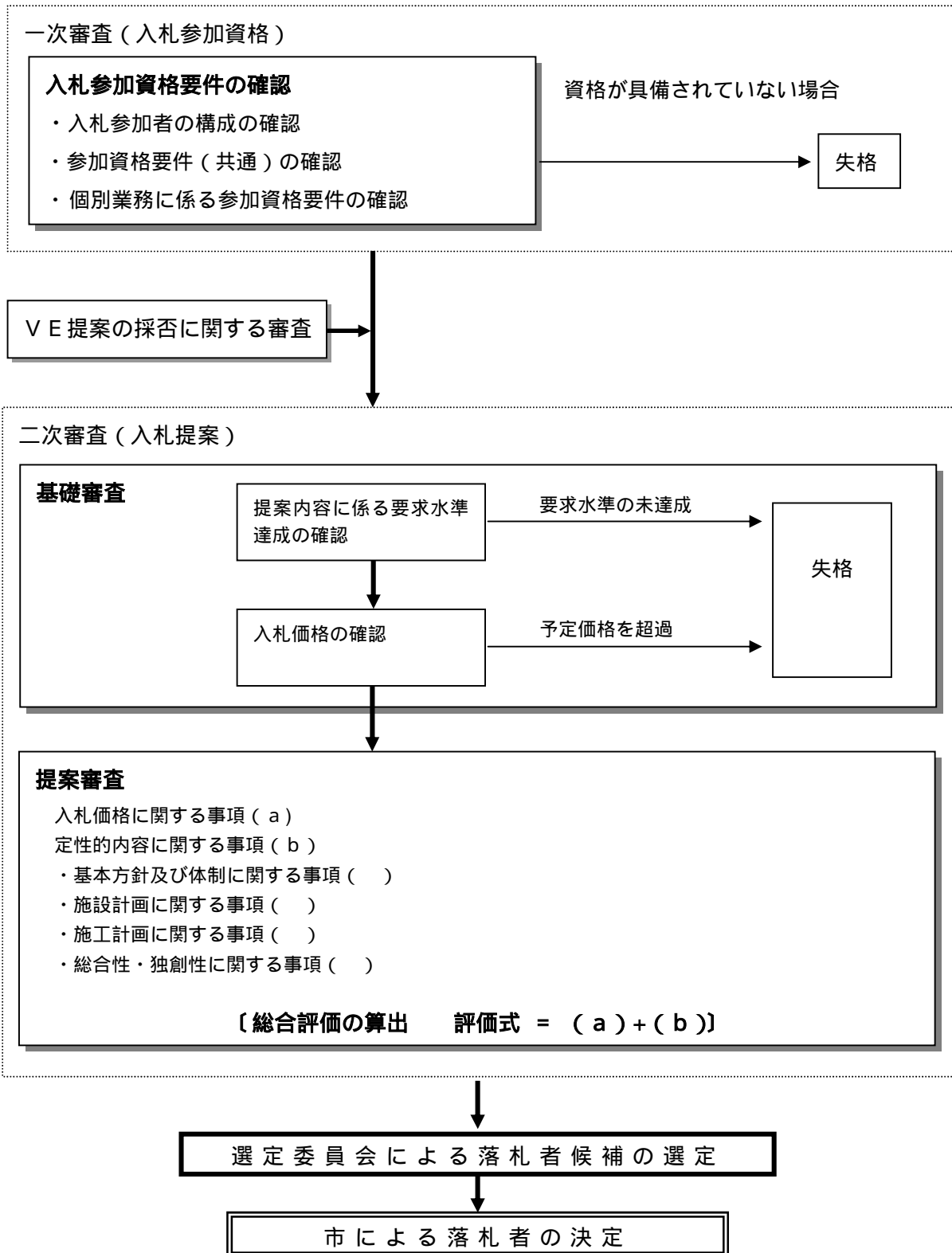
提案内容の審査に関して、公平性、競争性及び透明性を確保した上で、幅広い専門的見地からの意見を参考とするため、西宮市立南甲子園小学校校舎等改築事業者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）が設置された。構成される委員は次のとおりである。

役職	委員名	所属・役職等	分野
委員長	花田 佳明	神戸芸術工科大学 環境・建築デザイン学科教授	建築設計
副委員長	多賀 謙蔵	神戸大学大学院 工学研究科教授	構造設計
委員	河野 美壽	南甲子園小学校校長	学校運営
委員	近藤 民代	神戸大学大学院 工学研究科准教授	住環境計画等
委員	寺地 洋之	大阪工業大学 建築学科准教授	建築設計

### 3 審査の流れ

審査は二段階に分けて実施し、一次審査として、入札参加希望者の資格要件の確認を行い、二次審査として、一次審査を通過した入札参加者の提案内容に係る審査を実施した。

なお、二次審査の前に、一次審査を通過した入札参加者からVE提案を受け付け、市においてその採否に係る審査を実施した。



#### 4 選定委員会の審議・審査等の経過

選定委員会における審議・審査等の経過については、下表のとおりである。

選定委員会	開催日	審議・審査等の事項
第1回	平成25年2月21日	・ 委員長、副委員長の選出 ・ 選定までの流れと実施方針（案）の検討について
第2回	平成25年4月15日	・ VE提案要領（案）の検討について ・ 落札者決定基準（案）の検討について
第3回	平成25年5月20日	・ 実施方針、落札者決定基準（案）の修正について ・ 要求水準書（案）の検討について ・ 提案様式集（案）の検討について
第4回	平成25年7月5日	・ 入札公告資料の検討について
第5回	平成25年11月22日	・ VE提案及び一次審査の経過について ・ 要求水準達成の報告について ・ 審査評価方法の確認について
第6回	平成25年12月9日	・ 審査評価
第7回	平成25年12月16日	・ 審査評価（提案者ヒアリング実施） ・ 落札者候補の選定 ・ 市長への答申

## 第2 審査の結果

### 1 一次審査

平成25年8月28日までに以下の3グループから入札参加表明書及び入札参加資格確認申請書兼誓約書の提出があった。入札参加者の構成員は次に示すとおりであり、一次審査（入札参加資格審査）の結果、すべての入札参加者が入札説明書に示した入札参加資格要件を満たしていることが市によって確認された。

（五十音順）（注意：提案受付番号順ではありません）

構成企業名	業務分担	代表企業	市内企業
東急建設 株式会社 神戸営業所	建設		
株式会社 新井組	建設		
株式会社 昭和設計 神戸事務所	設計		
株式会社 早川総合設計	設計		
戸田建設 株式会社 神戸総合営業所	建設		
株式会社 羽衣組	建設		
株式会社 三弘建築事務所	設計		
株式会社 バコーポレーション 大阪支店	建設		
株式会社 松田組 神戸支店	建設		
株式会社 長大	設計		
平田建築設計 株式会社	設計		

### 2 VE提案の採否に関する審査

平成25年9月30日までに一次審査を通過した3グループから合計29件のVE提案があり、市においてVE提案要領に基づき審査が行われた結果、合計16件の提案が採択され、平成25年10月10日に提案者に対して通知された。（内、1件はその後辞退）

### 3 二次審査

#### （1）基礎審査

##### ア 提案内容に係る要求水準達成の確認

平成25年11月13日までに二次審査（提案）に関する提案書類の提出があり、各入札参加者の提案書類の各様式に記載された内容が、要求水準書に示す必要要件をすべて満たしていることを確認した。

#### イ 入札価格の確認

平成25年12月6日に入札及び開札が行われ、すべての入札参加者の入札価格が予定価格以下であることを確認した。また、入札価格について、入札説明書等で示す前提条件が正確に反映されており、計算上に誤りがないことを確認した。

提案受付番号	入札価格（消費税及び地方消費税を除く）
5	2,370,000,000円
7	2,415,000,000円
9	2,400,000,000円

予定価格：2,433,701,000円（消費税及び地方消費税を除く）

#### 4 提案審査

##### （1）定性的内容に関する事項の審査

選定委員会は、各グループの提案内容について、予め落札者決定基準で公表された審査項目及び得点化基準に基づき評価を行い、評価に応じて定性的内容に関する事項の得点を付与した。



< 選定委員会の定性的内容に関する評価点 >

審査項目	主な評価の視点	配点	提案受付番号				
			5	7	9		
1. 基本方針及び実施体制に関する事項		27	12.6	10.1	17.1		
(1)	本工事に 関する 基本的な 考え方	・本工事の目的を十分に理解し、市が重要と考える事項を踏まえた提案となっているか。 ・本施設の特性を踏まえた独自の視点及び明確な考えがあるか。	5	2.3	1.0	2.3	
(2)	業務実施体制	・実施設計、建設の各業務を遂行するに当たり、本施設に見合った実績、経験を有した体制となっているか。(別表1参照)	10	4	3.0	2.0	3.0
		・グループ間での業務の役割、責任分担が明確になっているか。 ・事業関係者(市、学校、地域住民等)との連絡、調整が円滑かつ効率的にできる提案がなされているか。 ・実施設計、施工段階での設計変更や各種問題の発生時に、市と連携を図り柔軟な対応が期待できるか。		6	2.0	1.6	3.6
(3)	リスク管理の 方針	・各業務において、適切なリスク分担や顕在化した際の対応などが検討されているか	5	1.0	3.0	3.7	
(4)	地域経済の 振興	・市内業者との共働について積極的な考えが示されているか。(別表2参照)	7	4	2.0	2.0	2.0
		・市内業者との共働(協力企業への下請けを含む)により、市内業者契約額において、30%を上回る提案がなされているか。(別表2参照)		2	2.0	0.0	2.0
		・上記以外の市内業者との共働(地元資材調達等)について積極的かつ具体的な考えが示されているか。		1	0.3	0.5	0.5
2. 施設計画に関する事項		34	17.3	18.0	23.1		
(1)	実施設計業務の 取組方針	・基本設計の主旨を十分に理解し、実施設計業務について明確な取組方針が提案されているか。	5	2.3	3.0	3.0	
(2)	学習空間として の機能性・快適 性の向上	・図書室、ランチルーム、ラーニングセンター、オープンスペース等について、多目的に使用できる学習空間としての機能性、快適性を向上させる提案があるか。 ・緑化基準などの諸条件を満たしたうえで、実質的に運動場として利用できるスペースをできるだけ広く確保する提案がなされているか。 ・採光条件や開放感の向上につながる効果的な提案がなされているか。	7	4.2	3.3	7.0	
(3)	避難所としての 機能性の向上	・学校教育活動に支障がないこと、大幅なコスト増を伴わないことを条件として、災害時に、避難所としての機能を向上させる有効な提案がなされているか。 ・津波時に、避難場所となる屋上の避難可能エリアを広げるための有効な提案がなされているか。	6	5.2	3.6	2.8	
(4)	安全対策	・転落防止、衝突防止、指つめ防止、けが防止(柱の角を安全な形状にする等)等の児童の安全性に配慮した提案がなされているか。 ・非構造部材の耐震対策(天井材、照明器具、内外装材等の落下防止等)について具体的な提案がなされているか。	6	3.6	2.8	3.6	
(5)	環境及び省エネ ルギーへの配慮	・省資源、省エネルギー等の環境負荷低減や光熱水費削減について、有効な提案がなされているか。 ・質の高い環境教育を実現するために、有効な提案がなされているか。(ピオトープ等の有効な活用方法等)	5	1.0	2.3	3.0	
(6)	施設の維持管理 や中長期的な用 途転用に対する 配慮	・清掃や保守点検等、日常の維持管理の容易さやコストに配慮した有効な計画となっているか。 ・中長期的な更新及び修繕等にかかるコスト低減のための有効な提案となっているか。(長寿命化、メンテナンスフリーに配慮した工法や材料の活用等) ・諸室の用途変更、建物の一部の用途転用等といった将来の環境変化への対応を容易にする有効な配慮があるか。	5	1.0	3.0	3.7	
3. 施工計画に関する事項		34	22.5	7.9	19.4		
(1)	施工計画にお ける品質確保	・児童が居ながらの段階整備となる難易度の高い本工事に於いて、施工の品質確保に関する具体的な手段・方法、施工管理体制などが提案されているか。 ・各施工段階における環境負荷低減を図るための工夫がみられるか。	8	5.9	1.6	4.8	
(2)	学校教育活動へ の配慮	・工事の各段階において、児童や学校利用者の安全な動線確保など、十分な安全対策が提案されているか。 ・工事期間中の騒音、振動、粉塵、臭気、工事車両運行、工事関係者の駐車場確保等の学校運営に与える影響を想定し、それに対する対策が講じられているか。 ・工事の各段階において、体育の授業等に使える運動場として、できるだけ広いスペースが確保できているか。	10	6.0	3.1	5.0	
(3)	工程管理及び工 期の遵守	・学校年間スケジュールや地元行事に配慮しながら、夏休み等の長期休暇を有効に活用した工程表が提案されているか。 ・工期が遵守できる具体的な提案となっているか。 ・工期短縮による最終引渡し時期の前倒し提案があるか。	8	6.9	0.5	4.8	
(4)	近隣住民への配 慮	・工事期間中の騒音、振動、粉塵、臭気、工事車両運行・入場待機等の近隣住民の生活環境に与える影響を想定し、それに対する対策が講じられているか。	8	3.7	2.7	4.8	
4. 総合性・独創性に関する事項		5	2.3	1.0	3.0		
		・各提案書に記される提案内容に整合性があり、また相乗効果を発揮することで、魅力的な施設としての提案がされているか。 ・上記1~3の各項目で特に評価し得る優れた提案があるか。 ・上記1~3に記す評価の視点には含まれない優れた独自の提案があるか。	5	2.3	1.0	3.0	
合計点		100	54.7	37.0	62.6		

## (2) 総合評価点の算定による落札者候補の選定

選定委員会における審査結果は、次表のとおりであり、選定委員会は総合評価点の最も高かった提案受付番号9を落札者候補に選定した。なお、提案審査段階では、入札参加グループの構成企業の実名及び入札価格を伏せて審査し、審査終了後に全ての実名、入札価格を開示し、総合評価点の確認が行われた。

提案受付番号	定性的評価点	価格点	総合評価点	順位
5	54.7	3.9	58.6	2
7	37.0	1.2	38.2	3
9	62.6	2.1	64.7	1

選定委員会の評価に基づく得点

価格点 = 150点(満点) × (1 - 当該入札価格 / 予定価格)

総合評価点 = 定性的評価点 + 価格点

## 5 落札者候補の市長への答申

選定委員会は、提案受付番号9の代表企業及び構成企業を、落札者候補として最も適当なものとして選定し、市長に答申した。

## 6 各提案に対する評価の概要

各提案に対する選定委員会での評価の概要は次のとおりである。

### 基本方針及び実施体制

#### < 提案受付番号5 >

- ・ 本工事に関する基本的な考え方において、工法の工夫により作業員不足に対応する点が評価できる。
- ・ 業務実施体制において、各企業が担当する役割を明確化しており、本工事の円滑な実施が期待できる点が評価できる。また、各企業の責任分担を、構成企業間で締結する事業者間協定書の中で明確に記載する等、企業間の連携体制が確立している点が評価できる。

#### < 提案受付番号7 >

- ・ 本工事に関する基本的な考え方において、基本設計書で示されている学校づくりの方針に対する考え方の記載が見られなかった。
- ・ 業務実施体制において、各企業の業務と責任分担が明確かつ具体的に記載されており、本工事の円滑な実施が期待できる点が評価できる。
- ・ リスク管理の方針において、具体的なリスク分担・対応策や保険内容が詳細に明示されるとともに、要求水準以上の保険付保を提案しており、本工事における十分なりスクの分析と広範囲のリスク管理を行っている点が評価できる。

< 提案受付番号 9 >

- ・ 本工事に関する基本的な考え方において、基本設計書で示されている学校づくりの方針に触れ、それぞれを具体的に展開しており、市が重要と考える事項を踏まえている点が評価できる。
- ・ 業務実施体制について詳細な検討・提案がなされており、本工事へのきめ細やかな配慮がうかがえる点が評価できる。また、設計変更の際は、変更根拠に基づく合理的な工事費増減額の算定や工事費増減額のない代替案の提示を行うなど、設計変更に対応する点が評価できる。
- ・ リスク管理の方針において、本工事のリスクを適切に分析し、リスクの未然防止策やリスク顕在時の対応も具体的に明示されている点が評価できる。また、要求水準以上の保険付保を提案しており、広範囲のリスク管理を行っている点が評価できる。

施設計画

< 提案受付番号 5 >

- ・ 学習空間としての機能性・快適性の向上において、学校の歴史を継承するため旧校舎の一部を内装等に利用したり、教室等のサインの色や形状を工夫し、オリジナリティのあるものを提案する等、学校要望を積極的に取り入れている点が評価できる。また、多様な学習活動に使用できる可動式の家具をオープンスペースに追加配置している点が評価できる。
- ・ 避難所としての機能性の向上において、建物や津波避難階段の入り口にコンクリート可動床板を設けて、災害時に地盤が沈下した場合でも床板がスロープ状になる提案が評価できる。また、昇降口から正門に至る範囲を地盤改良する等、避難時の安全な避難ルート確保について効果が期待できる提案となっている点や、停電時でも電源供給が可能な自立運転型ガスヒートポンプエアコンの採用等、避難所の居住性の向上に対する具体的な提案が評価できる。
- ・ 安全対策において、天井材の耐震対策について安全性に配慮した具体的な提案が評価できる。

< 提案受付番号 7 >

- ・ 実施設計の取組方針において、市内学校改築設計の経験豊富な設計企業が実施する点、また1社で設計を行うことにより設計責任の明確化が図れる点や、教育実践経験者をスタッフに配置して教育活動の現場目線で実施設計業務に取り組むなど、学校目線に立った姿勢が評価できる。
- ・ 安全対策において、天井材の耐震対策について安全性に配慮した具体的な提案が評価できる。
- ・ 環境および省エネルギーへの配慮において、太陽光・風力発電装置と一体的に整備するビオトープ等、自然観察だけでなく自然エネルギーを利用した環境教育を実現するための具体的な提案が評価できる。
- ・ 施設の更新及び修繕等にかかる配慮において、当校が甲子園浜に近いという立地を考慮し、コンクリートの外部増打ちを行い鉄筋のかぶり厚を確保し、浜風による塩害対策を行っている点が評価できる。

< 提案受付番号 9 >

- ・ 学習空間としての機能性・快適性の向上において、使いやすく安全面に配慮した図書室についての提案がある点や、またランチルーム、オープンスペースにも実際の教育活動を踏まえた工夫があり、機能性に留まらず豊かな学習空間を実現している点が評価できる。また、改築後の運動場スペースを広げる提案がある点も評価できる。全体的に児童・教職員の安全性や快適性を重要視したきめ細かな検討と工夫が多い点が評価できる。
- ・ 安全対策において、子どもが滑り降りできない形状の階段手すりの採用やトイレブースの指詰め防止策等、児童の安全面から工夫された具体的な提案が多く見られた点が評価できる。
- ・ 環境および省エネルギーへの配慮において、太陽光・風力発電装置と一体的に整備するピオトープ等、自然観察だけでなく自然エネルギーを利用した環境教育を実現するための具体的な提案が評価できる。
- ・ 施設の更新及び修繕等にかかる配慮において、本校が甲子園浜に近いという立地を考慮し、コンクリートの外部増打ちを行い鉄筋のかぶり厚を確保し、浜風による塩害対策を行っている点が評価できる。また、空調室外機において1台の室外機が故障しても他の室外機が自動的にバックアップ運転を行うマルチ方式を採用した提案等、メンテナンスに配慮している点が評価できる。

施工計画

< 提案受付番号 5 >

- ・ 施工計画における品質確保において、工場であらかじめ製作するPCa部材を採用することで、品質向上や型枠の節減による環境負荷低減が図れる点、またトラス筋付デッキ工法の採用により型枠の節減による環境負荷低減が図れる点が評価できる。
- ・ 学校教育活動への配慮において、工区割の工夫により工事期間中の体育の授業や休み時間に使用できる運動場スペースを拡大する提案がある点や、運動場に面する仮囲いに仮設防球ネットを設置する点が評価できる。児童の通学路の安全に配慮して工事ゲート以外の交差点に交通誘導員の配備をしている点が評価できる。また、地上躯体のスラブ型枠にトラス筋付きデッキ工法を採用することで、型枠を節減し型枠の脱型時に発生する騒音を低減できる点が評価できる。
- ・ 工程管理及び工期の遵守において、工期短縮につながる具体的な提案とともに新校舎棟の引渡し時期を1ヶ月前倒しする提案があり、騒音等による学校運営への影響低減や工事中的安全性向上の点から評価できる。また、南校舎棟の解体工事の重機作業を夏休み中に実施・完了させることで、児童・教職員の学校教育活動における支障を抑え、良好な学習環境の確保に配慮している点が評価できる。
- ・ 近隣住民への配慮において、北校舎棟解体時に敷地周辺の仮囲いに加えて一部には防音シートを設置する点や、騒音・振動の管理値を騒音規制法基準値より低い値に設定し、リアルタイムで測定値の監視を行う等、工事期間中の近隣住民への影響をできるだけ抑えるための提案をしている点が評価できる。

< 提案受付番号 7 >

- ・ 施工計画における品質確保について、普通教室の一室を先行モデルルームとして早期に仕上げることで、竣工前に学校関係者と使い勝手の事前確認を行い、修正箇所をその後の工事に反映可能な点が評価できる。
- ・ 学校教育活動への配慮において、工区割や工事ヤードの工夫により体育の授業や休み時間に使用できる運動場スペースを拡大する提案が、複数の工事段階である点が評価できる。
- ・ 工程管理及び工期の遵守において、他の2グループに見られる、児童・教職員の学校教育活動にかかる支障を抑えるため、南校舎棟躯体の解体工事を夏休み中に実施・完了するということが明記されておらず、解体工事中における児童・教職員への配慮について課題が残る。
- ・ 近隣住民への配慮において、工事搬出入計画について近隣自治会に配慮し可能な限りの要望を取り入れようとする姿勢が評価できる。

< 提案受付番号 9 >

- ・ 学校教育活動への配慮において、工区割の工夫により工事期間中の体育の授業や休み時間に使用できる運動場スペースを拡大する提案が評価できる。また、児童の通学路の安全に配慮して工事ゲート以外の交差点に交通誘導員の配備をしている点が評価できる。
- ・ 工程管理及び工期の遵守において、南校舎棟躯体の解体工事を夏休み中に実施・完了し、児童・教職員の学校教育活動における支障を抑え、良好な学習環境の確保に配慮している点が評価できる。
- ・ 近隣住民への配慮において、北校舎棟解体時に敷地周辺の仮囲いに加えて一部には防音シートを設置する点や、騒音・振動の管理値を騒音規制法基準値より低い値に設定し、リアルタイムで測定値の監視を行う等、工事期間中の近隣住民への影響をできるだけ抑えるための提案をしている点が評価できる。また、仮囲い上部に防犯カメラ、防犯センサー灯、青色防犯灯を設置し、夜間の防犯に配慮している点が評価できる。

総合性・独創性

< 提案受付番号 5 >

- ・ 施工計画全般において、工法の工夫、工期の短縮、安全面への配慮に努めており、各提案内容に整合性があり具体的である。今後、建設コストの上昇や建設作業員不足に伴う課題が予想されるが、着実かつ円滑な施工が見込める点が評価できる。

< 提案受付番号 7 >

- ・ 実施設計を進める上で、学校関係者や地域との協議に重点を置いており、一定の評価ができる。

< 提案受付番号 9 >

- ・ 実際の学校教育活動をよく把握し、安全面に配慮しながら、児童や教職員の目線に立った利用しやすい空間作りを意識しており、きめ細やかで具体的な提案が多い。今後の実施設計や施工を通じて、魅力的な学校づくりが期待できる点が評価できる。また、市内業者との協働において市内業者契約率を契約額の50%以上とすることで、地域経済の振興に大きく寄与している点が評価できる。

## 7 選定委員会の総評

本工事の入札に対して、3つのグループから優れた提案をいただいたことに深謝申し上げます。

本校の改築工事は、学校運営を継続しながら仮設校舎の設置、既存校舎の解体等を含めた改築工程を厳しいスケジュールで実施するというもので、工事中は児童・教職員の学校運営への十分な配慮が求められる。また、本校は甲子園浜からも近い距離に位置しており、津波等の災害にかかる地域の防災拠点としての役割が求められる。

その中で各グループから、基本設計を十分に理解した上での学習空間や避難所としての機能性向上や、居ながら施工における安全性の向上、学校運営への配慮などについて、創意工夫を凝らした多様な提案が出されたことは、事業者のノウハウ活用を目的とするデザインビルド手法導入に意義があったものと言える。特に提案者9については、実際の学校教育活動をよく把握し、安全面に配慮しながら、児童や教職員の目線に立った提案をそれぞれの審査項目で具体的に提案しており、今後の実施設計・施工を通じて魅力的な学校づくりが期待できる点が落札者に選定された理由である。

選定された事業者には、基本設計の趣旨を踏まえつつ、改めて学校現場の意向を確認し、実際の使い勝手を考慮しながら実施設計を進め、学校運営や安全性に最大限配慮しながら、より良い学校教育環境の創出に努めていただきたい。

最後に、選定委員会として、入札参加者の本事業への熱意と努力に対して敬意を表するとともに、本事業が今後の市の学校教育の向上に資することを願うものである。